



平成23年度 労働安全衛生標語 京都協会作品

気をつけよう 慣れた作業と 気のゆるみ

ゼロ災害 基本に徹して つながる安心

宮川 仁司 (株)ジェイアール西日本総合ビルサービス

稲田 康江 中信興産(株)

安全は日々の努力と意識から、みんなできつくる^{ゼロ}災害職場

宮野 忠信 双葉メンテナンス工業(株)

CLEAN CREW



[平成23年度] 「第1回 定例会議」開催

8月23日(火) 13:30~ 京都府中小企業会館805会議室



山元副会長の挨拶により、定例会議が定刻に開会。

先ず、植西会長から挨拶があり、京都協会の公益法人へ移行後の組織編成について、「平成23・24年度 常任委員会編成表」に基づき、名誉会長・会長・担当副会長並びに、各委員長・副委員長が紹介されました。

●会長からの報告事項

1.全国的に公益若しくは、一般法人

へ移行されていく中、福井県協会が公益移行手続きを済ませ、来年4月には移行完了される予定。又、今回の大震災で被災地となった福島県協会も、公益に向けて手続きに入られたと聞いております。

2.さる7月28日、東京日暮里のホテルラングウッドにて、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会第47回通常総会が開催されました。

京都協会より矢口氏が全協の運営員として、代議員として植西会長、河本副会長の3名が出席、全国より代議員が京都を含め188名(委任状等含む)出席されました。岩手、東京、岡山の3県より議長が選出され、狩野会長の挨拶で総会が始まり、来賓挨拶を挟み、午後より議案審議入

りし、重要議案である全国協会会長に、一戸隆男氏(東京協会会長)が就任されました。又、その他の審議事項はスムーズに承認可決されました。

以上の報告事項について質疑応答に入り、意見等を求めた後、満場一致で了承されました。

更に、植西会長より「今回より各都道府県協会の事務局でも、総会の進行状況をTV会議システムで傍聴できるようになりました。又、総会の議案書も、公益社団法人移行に伴い、直接、会員企業(各企業)へJASMINで配信されるようになりました。」との報告がありました。

花田副会長の挨拶にて、定例会議は閉会されました。

以上

知的等習得コース求職者訓練

ビルメンテナンス科入校式

8月2日(火) 9:30~ 京都府立京都高等技術専門学校

この度、京都府立京都高等技術専門学校において「知識等習得コース求職者訓練・ビルメンテナンス科」の入校式が、平成23年8月2日(火)午前9:30より行われました。

主催である、財団法人 建築物管理訓練センターの梶山近畿支部長より開校挨拶が述べられました。また訓練生代表の挨拶では、糸井昭彦さんより、この日に至るまでの就職難の実態のお話

があり、就職を望まれる強い意気込みが感じられました。

訓練受講生は18名。入校式(8月2日)より、清掃・設備・警備で組まれた訓練内容で、基礎知識から始まる座学と充実した実技時間も組み込まれた内容の日程で、10月28日の終了式まで、54日間、延べ324時間の受講となります。

公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会は、担当講師を中心として訓練内



容・日程を配分しており、今回ビルメンテナンス科からの就職に繋がる役目は大変大きいものとなります。

なお、開校式の出席者は下記の通りです。

<出席者>

梶山 高 志 (財)建築物管理訓練センター 近畿支部長	渡 辺 貴 之 (財)建築物管理訓練センター 常務理事
山 橋 和 弘 (財)建築物管理訓練センター 事務局長	渡 邊 金 靖 (財)建築物管理訓練センター 近畿支部 事務局長
藤 原 靖 典 京都府立京都高等技術専門学校 訓練第三課長	徳 永 道 夫 京都府立京都高等技術専門学校 専門就職推進委員
矢 口 雅 彦 (公社)京都ビルメンテナンス協会 名誉会長	植 西 雅 史 (公社)京都ビルメンテナンス協会 会長
河 本 豊 (公社)京都ビルメンテナンス協会 副会長	藤 井 忍 (公社)京都ビルメンテナンス協会 公益事業委員長
古 河 慶 司 (公社)京都ビルメンテナンス協会 公益事業副委員長	落 合 吉 彦 (公社)京都ビルメンテナンス協会 公益事業副委員長

公益事業委員会 京都市朱雀工房にて清掃講習会を開催

今年度も京都市朱雀工房にて、京都精神保健福祉施設協議会清掃講習会が、平成23年6月13日より、4週に亘



り、12日間の初級・中級の実技指導が始まりました。

公益事業委員会が行っている講習会も今回で14年目を迎え、今年度も11名の受講者が基本的な座学講習から、実技講習(自在ほうきの掃き方・ダスタークロスの使い方・モップでの拭き掃除・タオルでのテーブルの拭き方)を指導しました。7月13日には、全員に修了証書が渡されました。

続いて7月25日からの上級清掃講習会も7名の応募があり、この講習会も3週に亘り9日間行われました。

特に上級清掃講習会では、アビリンピック京都大会で競技される同じ作業を8日間で指導し、9日目の最終日(8月10日)に実技の修了試験を行いました。その結果、7名全員が好タイムで作業を終えることができ、全員に上級者の修了証書が渡され、閉会しました。

平成23年度 ビルクリーニング技能士受験準備講座開催 「合格を目指して初めの一步」

8月26日(金) 13:00~16:00 京都府中小企業会館801会議室

受講生:22名・委員:8名・講師:3名・インストラクター:4名

平成23年8月26日(金)午後1時より、ビルクリーニング技能士受験準備講座が開催されました。冒頭、藤井委員長(公益事業委員会)より、「皆さんがしっかりと基礎を学んで頂き、合格されることを願っております。また、合格率が低いと、次に受験される方達に迷惑を掛けるとの自覚を持って受講し、試験に臨んでください」との挨拶があり、続いて、森講師(まこと美装)より、試験の概要に関する説明が行われ、DVD「ビルクリーニング技能士への道」の鑑賞から

講習がスタートしました。

DVD鑑賞後、インストラクターによる実技が行われ、先ずは、平井氏(近畿美装)によるワックス掛け作業、続いて、矢守氏(中央保健)によるカーペットクリーニング作業、最後に、三宅氏(白青舎)によるガラス清掃作業と、プロの技を受講生の皆さんは、ホーと言う声と共に真剣に見つめておられました。

実技終了後、河合副委員長より、来年2月に行われる試験に向けて、「清掃中看板の設置・糸ラゲの操作等々、



小さな事で減点される事が多々ありますので、くれぐれも気を付けて下さい」との指摘がありました。

最後に、藤井委員長より、「9月より本格的な講義に入っていきますので、各自、課題を持って受講するよう心掛けて下さい」との挨拶があり、初回講習が終了しました。受講生並びに関係者の皆さん、お疲れ様でした。 以上

取材:広報委員会

平成23年度 第1回経営開発セミナー開催

去る9月21日、台風15号が太平洋沿岸から東海地域へまさに上陸を覗う厳しい気象状況のもと、本年度第1回経営開発セミナー「バリアバリューの創造」を中小企業会館806号室において開催いたしました。心配しておりました台風の影響も、幸い京都市内において



は大きくはなく、30名を越える多くの皆様のご参加を頂きました。

本セミナーは今期より、より公益性を高めることにより広く経営の向上に資することを旨としており、広い分野で講師をお願いすることとしております。今年度第1回セミナー開催にあたり、講師にはミライロ(株)社長・垣内俊哉さんをお願い致しました。

まず、冒頭植西会長のご挨拶のあと、滋野副委員長による講師紹介があり、約1時間30分にわたり、自ら車椅子生活でありながら強い意志と明確な人生設計に基づき、自らの目線で、現在の

バリアフリー社会の問題点や施設改善の効用、高齢者も含めた社会や経済活動の参加機会向上が経済の活性化や価値向上に役立つと、息つく間もなく熱く語っていただき、参加者に大いに勇気と感銘を与えたお話しでありました。このセミナーを機に障がい者の雇用促進、社会や経済活動参加について、さらに各社の経営開発促進の一助となれば幸いです。

なお、今後のセミナー開催についてご要望ご意見がありましたら、協会事務局までご連絡をお願いいたします。

我が社の 取り組み

大光建物保全株式会社

「感謝の心なくして進歩なし」

まずはじめに弊社は今年創業30周年を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様様の温かいご支援、ご協力があったの賜物であります。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて弊社はここ京都で発足し、清掃業を中心にビルメンテナンス業に携わってまいりました。「建築物は人間のカラダと同じくメンテナンスが必要であり、我々はそのかかりつけのドクターでありたい」という思いを胸に今まで励んで参りました。

我々を取り巻く環境が大きく変化していく中、その時代の波に乗りながらも一方で伝統を守っていききたいとい

う思いで常に知識、技術の向上を目指した社員教育をしております。一人ひとりが「己を磨け」の精神で取り組んでおります。

現在業界内でも一番問題となっておりますのは、やはり環境汚染の問題ではなからうかと思えます。環境保護には時間や経費が掛かるという中で、弊社もバランスを考えながら常にその問題と向き合い取り組んでおります。

これからも、真面目にコツコツと邁進努力していく所存であります。



ふれあい・心のステーション～自立と社会参加を目指して～

平成23年9月7日、8日と京都府内11校の府立特別支援学校生徒による製品販売、製作実演が、大丸京都店で開催されました。

8日の午後1時15分より「ビルメンテナンスの実演」が行われるということで、当協会からは植西会長、藤井公益事業委員長、事務局全員で参加致しました。

まず、会場に入ると、威勢のよい呼び込みの声！「いらっしゃいませ！どうぞ見て行って下さい！」そして溢



れんばかりの生徒達の笑顔が、私たちを出迎えてくれました。

会場にはたくさんのお客様が来場しており、移動するのも困難な程の賑わいでした。

生徒達の作品は、陶

器・木工品・野菜・手芸品など、日頃、学校生活の中で製作しているもので、どれをとってもその完成度は素晴らしくそして愛情のこもった作品ばかりでした。

午後から宇治支援学校の三人の生徒が授業で勉強している「ビルメンテナンスの実演」を当協会の新井講師の司会のもと、披露してくれました。

ホワイトボードを窓に見立てた拭き掃除、テーブルの拭き掃除、そして枠を組み掃除機をかける作業。

たくさんの来場者の視線の中、少し緊張した面持ちでしたが、日頃の成果を披露し、最後の挨拶の笑顔は達成感に満ち溢れているものでした。

自立を目指す生徒の一生懸命な姿勢に心打たれる一日となりました。



コラム

○お寺の始まり

お寺の歴史が始まったのは、日本に仏教が伝わって間もない飛鳥時代のことです。
神社にご神体が置かれているのと同じように、仏像を置く場所としてきたのがお寺でした。
その後、僧侶（お坊さん）が修行をしたり、お経を読むための場所となり、現在のお寺のかたちができあがりました。

○お寺は、なにを“する”ところ？

① 仏像を祀る場所

② 僧侶が住み、お経を読む

③ 僧侶が修行をする場所

④ お葬式・お墓参りをする場所

次回はお寺の中を見て行きます。



会員の変更事項

【正会員】

●代表者変更

株式会社 ジャパンファシリテーズ
代表者/長谷川 守<平成23年8月24日変更>

●新入会員<正会員平成23年9月1日入会>

株式会社 丸起 代表者/藤木輝幸
住所/〒615-0034 京都市右京区西院西寿町14番地23
田井ビル101
電話075-323-3333 FAX075-323-3334

●退会

・寿管財株式会社<平成23年8月31日退会>
・株式会社 三晃商会<平成23年8月31日退会>

【賛助会員】

●代表者変更

株式会社 リンレイ 大阪支店
代表者/岡田 圭介<平成23年9月1日変更>

【報告】

全国ビルメンテナンス政治連盟の代表理事に矢口雅彦氏(京都協会理事が第6期目、13年目の就任)。

【表彰事項】

全国ビルメンテナンス協会会長表彰受賞 副会長 河本 豊氏

KBMA
京都ビルメンニュース
第55号(2011年秋号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:植西雅史
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒615-0042
京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F
TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか？

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。
詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナンス協会検索」をご覧ください。
ご覧頂か、協会事務局までご遠慮なくお問い合わせください。